

新入生に望むこと

一学年主任 館沼 昇一
入学してから二ヶ月が過ぎて、少しずつ新しい環境にも慣れ、本校での高校生活を無事スタートしたようです。
生徒は四月・五月と行事が多く、いろいろなことを考える余裕がなかったと思います。余裕ができたこの二ヶ月で学んだことを考えてみてください。その中でいくつかお願いしたいことがあります。
まず、基本的な生活習慣の確立です。体調管理をしっかりして欠席・遅刻・早退をせずに登校し、授業に集中することが高校生活の第一歩ではないでしょうか。

次に「ルールを守る」ということです。先日携帯電話の使い方について安全教室がありました。ご家庭でもルールを決めて守らせるようにしてください。携帯電話以外でもお願いします。そして「自分を大切にすること」を大切にしてください。自分自身を大切にしたいという考え方をしっかり考えて欲しいです。自分の可能性を信じ、これは無理だからあきらめようと思わないで前向きに取り組みを期待します。
最後に、保護者の皆様には生徒たちが有意義な学校生活を送ることができるよう、ご協力とご支援をお願い申し上げます。

教職員紹介

(敬称略)

宜しく申し上げます



校長 菊地 透



教頭 藤田 泰



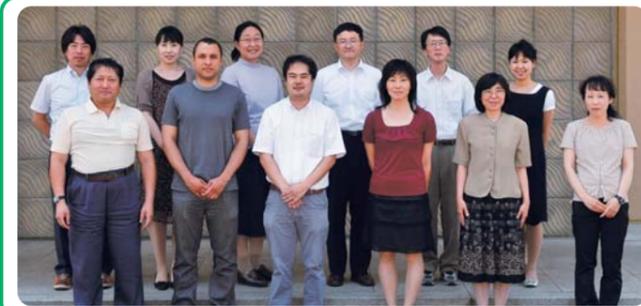
国語

- 上段右から
山崎 和美 (2の2正)
幡山さゆり (1の4副)
若目田有紀 (2の8副)
佐藤菜穂子 (講師)
下段右から
栗原 由佳 (1の6正)
松丸 繁蔵 (3の7副)
上野 早織 (3の1副)
岩上 照朗 (全学年付)



数学

- 上段右から
小松崎佐智子 (2の8正)
北条 盛夫 (2の3副)
渡邊真由美 (2の7正)
増淵 裕子 (1の5正)
木村 敬一
下段右から
藤田 泰 (教頭)
加藤 和雄 (3の4副)
五月女美智子 (3の7正)
館沼 昇一 (1の1正)



英語

- 上段右から
三島つかさ (2の1副)
足立 一則 (2の7副)
吉澤 幹夫 (1の1副)
稲葉 久恵 (1の7正)
保坂 里美 (2の4正)
布川 康則 (1の2副)
下段右から
長谷川良子 (2の5副)
篠原 玲子 (3の5副)
渡辺 聡代 (3の2正)
西垣 徹 (3の3正)
リコ・ネムハード
佐藤 一典 (2の2副)



芸術科・家庭科

- 星野 典子 (3の4正)
三村 典弘
北村のぞみ (2の3正)
赤羽 知子 (3の3副)



理科

- 上段右から
飯田 則子 (主任実習助手)
塩谷 博之 (2の6正)
板倉有紀江 (1の3正)
向田 眞吾
下段右から
大場 昇 (1の5副)
藁科 実 (3の5正)
飯竹 雅巳 (2の1正)
小瀧 貴子 (1の7副)



地歴・公民

- 上段右から
北村 裕子 (3の6正)
中田 良直 (1の4正)
石井 亨 (3の2副)
長平 佳史 (2の5正)
下段右から
飯島 好子 (1学年付)
五月女弥生 (1学年付)
野沢 光 (3学年付)
齋藤 均 (1学年付)



体育

- 上段右から
中條佳津子 (養護教諭)
小橋 可奈 (2の6副)
遠井 努 (3の6副)
鈴木 義孝 (1の2正)
下段右から
篠崎 淳 (1の6副)
篠崎 悟 (1の3副)
布村 隆 (3の1正)
渡辺 孝司 (2の4副)

二年生に望むこと

二学年主任 飯竹 雅巳
今まで国民総中流であった日本が変わりつつあります。これまではそこそこやっていても何とか生きていたことが、これからはなんとかならなくなってしまうということ。これは子供たちにとっても、とても大変なこと。
企業が正社員数を削減したため新卒者の就職事情は戦後最悪と言われています。少子化の影響で大学に入学することは易しくなりましたが、こうなるただだ大学を出ていけば良いというわけにはいきません。自分の将来にとって有利な大学でなければなりません。

ば大学を卒業する意味がなくなってしまう。大学卒がごろごろしている社会です。いろいろな専門学校卒ではさらに就職は困難になるでしょう。専門学校を目指すなら確固たる目的意識と忍耐力が必要です。
高校二年生のこの時期は人生の一つの分岐点になります。目標を持って頑張った者、何も考えずに中だるみをした者では将来の人生に大きな差が出てくるでしょう。
この時代を生き抜くため本校の二年生諸君にも是非とも頑張ってもらいたいと思います。全国の高校二年生が頑張っています。

三年生に望むこと

三学年主任 布村 隆
七月を迎え、何とか二七七名の生徒全員が、それぞれの進路実現に向けて無難なスタートをしたように思われます。これからが最も大変な時期かもしれません。精一杯頑張ってください。

もちろん、立派な作品があれば、未完成で終わる作品もあると思います。しかし、できるだけ良い作品にどうすれば良いか考えるのが人だと思えます。だから「人生は修業なんだ」と思っています。
どんな人生も、それぞれそれなりに立派な作品になります。そのためには、これから残された貴重な時間を悔いのないものに、生徒一人一人が考えて行動して貰いたい。
自分に負けないで良い作品を作ってください。

過日、家で某新聞を読んでいると、ある記事が目飛び込んできました。そこには、「人生は修業。そんな言葉を聞いたことはないですか云々」と始まる文章を読み考えさせられました。たとえば、人生を一枚の絵を描く事に例え、どの人にも一枚の絵を描く事ができます。